

平成29年2月28日

保護者様

秦小学校長 白川 公一

## 平成28年度秦小（後期）学校評価について（報告）

2月にご協力いただきました、学校評価（保護者・児童・教職員）について報告いたします。全家庭から貴重なご意見（評価）をいただきありがとうございます。平成28年度を振り返るとともに、平成29年度の秦小教育に向け参考とさせていただきます。今後とも学校教育へのご理解とご協力をお願いいたします。

### 1 平成28年度 後期学校評価（保護者）

4=そう思う 3=どちらかと言えそう思う 2=どちらかといえそう思わない 1=そう思わない 評価は平均点 116/116 100%回答

I 学校経営に関すること						後期	前期	前年との比較	昨年同期	比較
学校教育目標・ 学校運営目標	1	学校は、学校便り・学年便り・HP等を通して、教育方針をわかりやすく伝えている。	3.53	3.43	△	3.42	△			
	2	学校は、地域や家庭の要望にこたえている。	3.30	3.24	△	3.20	△			
	3	学校は、家庭への連絡を必要に応じて行っている。	3.51	3.43	△	3.50	△			
	4	学校行事・授業参観等で保護者が児童の様子を知る機会を多く設けている。	3.60	3.66	▼	3.49	△			
施設	1	学校は、児童の安全管理に配慮している。	3.44	3.31	△	3.42	△			
	2	校舎内外の美化や掲示物の工夫など学習しやすい環境づくりに努めている。	3.46	3.39	△	3.34	△			
II 子どもに関すること						後期	前期	前年との比較	昨年同期	比較
生活面	1	お子さんは、学校に行くことを楽しみにしている。	3.66	3.60	△	3.66	—			
	2	誰とも仲良く過ごしている。	3.54	3.57	▼	3.51	△			
	3	あいさつをしっかりとっている。	3.32	3.21	△	3.17	△			
	4	きまりや約束を守って生活している。	3.27	3.22	△	3.18	△			
	5	外で遊んだり、運動をしたりしている。	3.56	3.37	△	3.33	△			
学習面	1	授業が楽しくわかりやすいと言っている。	3.28	3.15	△	3.14	△			
	2	すすんで宿題や家庭学習をしている。	3.01	2.87	△	2.86	△			
	3	自分の考えを素直に言うことができる。	3.05	2.97	△	2.97	△			
	4	すすんで読書することができる。	2.79	2.63	△	2.62	△			
III 保護者自身に関すること						後期	前期	前年との比較	昨年同期	比較
	1	学校から送られてくる配布物は、よく読んでいる。	3.27	3.28	▼	3.29	▼			
	2	授業参観等の学校行事には、すすんで参加するようにしている。	3.63	3.54	△	3.64	▼			
	3	子どもの様子に変化があれば、担任等に知らせるようにしている。	3.34	3.30	△	3.33	△			
	4	PTA活動や地域活動に積極的に協力している。	3.42	3.30	△	3.32	△			
	5	学校への意見や要望は、その都度学校に伝えている。	3.14	2.95	△	2.87	△			
IV 教職員に関すること						後期	前期	前年との比較	昨年同期	比較
	1	悩みや相談事に対して素早い対応をしている。	3.50	3.38	△	3.37	△			
	2	子どもや保護者に対して、常に誠実な態度で接してくれる。	3.57	3.47	△	3.43	△			
	3	わかりやすい授業をするために工夫している。	3.50	3.39	△	3.39	△			

### 【学校評価の見方】

学校評価は、保護者・児童・教職員を対象に各質問を4段階で回答したものを数値化（各段階×選択者数の合計÷全体数）し、評価指数としました。

#### 指数評価 4点満点

指数 3.0 以上…おおむね肯定である

指数 3.0 未満…改善の努力を要する

V 4つの実践・3減運動（お子さんの実態）						後期	前期	前年との比較	昨年同期	比較
4つの実践	1	朝ご飯をしっかりと食べる。	3.74	3.61	△	3.68	△			
	2	呼ばれたら「はい」と元気よく返事をする。	3.36	3.19	△	3.16	△			
	3	「ありがとう」「ごめんなさい」と言う。	3.27	3.17	△	3.21	△			
	4	友だちをたくさんつくる。	3.59	3.57	△	3.52	△			
3減運動	1	テレビの時間を減らします。	2.90	2.92	▼	2.89	△			
	2	ゲームの時間を減らします。	3.02	3.05	▼	2.89	△			
	3	携帯電話やパソコンに触れる時間を減らします。	3.23	3.27	▼	3.22	△			
VI 保護者のスマートフォン【4つの実践】【3減運動】（保護者の取組）						後期	前期	前年との比較	昨年同期	比較
4つの実践	1	子どものスマートフォンにはフィルタリングをする。	3.70	3.58	△	3.73	▼			
	2	午後9時以降は使用しない。	3.06	3.04	△	3.17	▼			
	3	食事中や歩行中の「ながら」操作はしない。	3.52	3.59	▼	3.53	▼			
	4	他人を傷つける言葉や個人情報を書き込まない。	3.90	3.87	△	3.90	—			
3減運動	1	テレビの時間を減らします。	3.31	3.28	△					
	2	ゲームの時間を減らします。	3.43	3.40	△					
	3	スマートフォン・携帯電話やパソコンに触れる時間を減らします。	3.23	3.21	△					

### ＜保護者評価の考察＞

後期は、評価の数値を見ると、全体的に多くの項目で数値が上がっているため、前期の課題に対して努力している様子が分かります。しかし、後期は、前期に比べ大きな行事が少なく、学校の様子が伝わりにくかった面もあると思います。I-4については、学校公開を工夫するなどして、保護者や地域への積極的な公開を考えてまいります。また、ホームページでも積極的に学校の様子をお知らせしていますのでご活用ください。

II-2では、「いじめ」について、特にアンテナを高くし、「この学校でもどのクラスでも起きている」と言うことを前提に児童理解を深め早期発見・早期解決に全職員で対応してまいります。

また、3減運動については、本校の大きな課題と捉えています。HQCシートを活用しテレビの時間を減らす取組をしていますが十分浸透しているとはいえません。また、3減運動については、児童だけでなく「大人が手本となって」が、最も有効な手立てだと考えております。そして、テレビやゲームの時間を減らし「読書の時間」として活用できれば進んで読書をする児童も増えると考えられますので、引き続きご家庭での協力をお願いいたします。

本校では、4つの実践と3減運動を基盤とし保護者の要望に応えられるよう全力で指導にあたりますので、よろしく願いいたします。

## 2 平成28年度 学校生活をふりかえって（後期・児童）

<評価基準> 4:思う 3:少し思う 2:少し思わない 1:思わない 116/116 回答率100%

I 学校教育目標の具現化						後期	前期	比較	昨年同期	比較
1 思いやりのある子（だれとでも仲よくし、れいぎ正しい子）						後期	前期	比較	昨年同期	比較
思いやりのある子	1	楽しく学校生活を送っている。	3.91	3.85	△	3.86	△			
	2	だれとでもなかよくしている。	3.78	3.74	△	3.68	△			
	3	決まりや約束を守って行動している。	3.62	3.61	△	3.56	△			
	4	きちんとくつをそろえている。	3.73	3.63	△	3.54	△			
	5	地域の行事や体験活動に進んで参加している。	3.30	3.39	▼	3.10	△			
	6	けじめ（良いことと悪いことの区別）をつけて、行動している。	3.58	3.52	△	3.66	▼			
2 元気な子（最後まで全力で取り組む子）						後期	前期	比較	昨年同期	比較
元気な子	1	友だちや先生、家族や交通当番の人に進んであいさつをしている。	3.78	3.67	△	3.72	△			
	2	きそく正しい生活に心がけている。	3.66	3.56	△	3.77	▼			
	3	ルールを守ったり勝敗を素直に認めたりすることができる。	3.69	3.61	△	3.61	△			
	4	おしゃべりをしないでそうじに取り組んでいる。	3.36	3.19	△	3.23	△			
	5	進んで朝マラソンに参加している。	3.86	3.72	△	3.86	▼			
	6	外で遊んだり、運動したりしている。	3.80	3.75	△	3.79	△			
3 進んで学ぶ子（課題を見つけ進んで学ぶ子）						後期	前期	比較	昨年同期	比較
進んで学ぶ子	1	授業の内容が、よくわかる。	3.72	3.56	△	3.70	△			
	2	宿題や家庭学習を忘れずに取り組んでいる。	3.66	3.57	△	3.60	△			
	3	よいせいで、学習をしている。（ぐーべたびん）	3.29	3.19	△	3.23	△			
	4	最後まで先生や友だちの話をきくことができる。	3.72	3.60	△	3.74	▼			
	5	進んで自分の考えを発表することができる。	3.34	3.25	△	3.34	▼			
	6	進んで本を読んでいる。	3.47	3.45	△	3.33	△			
II 4つの実践						後期	前期	比較	昨年同期	比較
4つの実践	○	朝ごはんをしっかりと食べて登校している。	3.95	3.68	△	3.91	△			
	○	よばれたら「はい」と元気よく返事ができる。	3.70	3.70	—	3.61	△			
	○	「ありがとう」「ごめんなさい」と素直に言える。	3.70	3.69	△	3.65	△			
	○	友だちをたくさんつっている。	3.87	3.75	△	3.83	△			
III 3減運動						後期	前期	比較	昨年同期	比較
3減運動	○	テレビを見る時間をへらしている。	3.20	2.78	△	3.01	△			
	○	ゲームの時間をへらしている。	3.31	3.26	△	3.23	△			
	○	携帯電話やパソコンにふれる時間をへらしている。	3.61	3.40	△	3.59	△			
IV 先生について						後期	前期	比較	昨年同期	比較
教職員	1	いじめや困っていることの相談にのってくれる。	3.95	3.80	△	3.90	△			
	2	わかりやすく勉強を教えてくれる。	3.93	3.85	△	3.81	△			
	3	あなたの努力やがんばりをほめてくれる。	3.88	3.74	△	3.80	△			
	4	悪いことは悪いと、きびしく指導してくれる。	3.91	3.81	△	3.86	△			

### <児童評価の考察>

児童の評価についても、前期・平成27年度後期の両方と比較しました。数値につきましては、概ね後期の評価は高いようです。すべての項目で3点未満の数値はありません。これは、児童一人一人が、向上心をもって学校生活を送ろうと努力した成果だと考えています。しかし、これは平均した数値であり、I-1-5、I-2-4、I-3-5、I-3-6については、複数の児童が「1：思わない」に○をつけていました。そこで、無言清掃への取組や発表力の向上そして読書への意欲付けを課題として、一人一人の力を引き出せるよう指導してまいります。

また、3減運動について、「1：思わない」に○をつけた児童も多かったのですが、平均すると児童の評価は、比較的高いようです。これは、テレビやゲームを多くする児童と、減らす努力をしている児童の2極化の傾向があるといえそうです。3減運動については、今後も積極的に働きかけ、減らした時間を家族との会話や読書等の時間に当てられるよう、保護者の皆さんと連携しながら指導してまいります。

### 3 平成28年度 後期学校評価（教職員）

基準 4=そう思う 3=どちらかと言えばそう思う 2=どちらかといえばそう思わない 1=そう思わない

I 学校教育目標の具現化						
思いやりのある子(だれとでも仲よくし、礼儀正しい子)						
1	＜だれとでも仲良くする子(協力)＞	後期	前期	比較	昨年	比較
①	縦割り班活動は充実していましたか。	3.92	3.67	△	3.29	△
②	互いに認め合い、思いやりのある行動がとれる子が育成されましたか。	3.17	3.08	△	3.08	△
2	＜決まりや約束をまもる子(責任)＞	評価	前期	比較	昨年	比較
①	奏小スタンダードにより規律ある態度は、育成されましたか。	3.17	2.29	△	3.08	△
②	くつをそろえる子が育成されましたか。(3つの「あ」を意識して行動する)	3.50	3.25	△	3.25	△
3	＜感謝の心をもって行動する子(感謝)＞	評価	前期	比較	昨年	比較
①	地域との交流や体験活動に取組んでいますか。	3.45	3.42	△	3.42	△
②	道徳の実践力や、育成されましたか。	2.91	3.08	▼	3.00	▼
元気な子(最後まで全力で取り組む子)						
1	＜明るいあいさつや返事のできる子(素直)＞	評価	前期	比較	昨年	比較
①	進んであいさつをする子の育成が図られましたか。	3.08	2.50	△	2.83	△
②	基本的な生活習慣の育成を図るため、日常的に指導を行うことができましたか。	3.25	3.25	—	3.42	▼
2	＜正しいことが堂々とできる(正義)＞	評価	前期	比較	昨年	比較
①	「ルールを守る・勝敗を素直に認める・人のせいにならない」力が育成されましたか。	3.08	3.08	—	3.00	△
②	無言清掃への意欲を高めることができましたか。	2.67	2.50	△	2.42	△
3	＜めあてをもって最後までがんばる子(全力)＞	評価	前期	比較	昨年	比較
①	朝マラソンに積極的に参加する子の育成が図られましたか。	3.33	3.17	△	3.67	▼
②	思いっきり汗をかく授業の実践に努めましたか。	3.25	3.30	▼	3.30	▼
進んで学ぶ子(課題を見つけ進んで学ぶ子)						
1	＜課題を見つけ自ら学ぶ子(自主)＞	評価	前期	比較	昨年	比較
①	わかる授業の実践(課題の提示等)による学力向上が図られましたか。	3.25	3.27	▼	3.27	▼
②	家庭学習等で学習習慣を育むための工夫改善を進めていますか。	3.58	3.64	▼	3.20	△
2	＜人の話を静かに聴く子(清聴)＞	評価	前期	比較	昨年	比較
①	良い姿勢で話を聴く子の育成を図ることができましたか。	3.00	3.09	▼	3.09	▼
②	教室経営(掲示・座席・整理整頓・係活動など)の向上が図られましたか。	3.17	3.30	▼	3.50	▼
3	＜集中して学習に取り組む子(集中)＞	評価	前期	比較	昨年	比較
①	朝自習は、計画的に実施することができていますか。	3.55	3.27	△	3.36	△
②	読書活動を推進していますか。	3.18	3.25	▼	3.36	▼

II 4つの実践・3減運動							
4つの実践	①	朝ごはんをしっかり食べて登校する児童の育成に努めていますか。	3.67	3.36	△	3.50	△
	②	呼ばれたら「はい」と元気よく返事をする児童の育成に努めていますか。	3.58	3.18	△	3.58	—
	③	「ありがとう」「ごめんなさい」と言いう児童の育成に努めていますか。	3.50	3.45	△	3.42	△
	④	友だちをたくさんつくれる児童の育成に努めていますか。	3.58	3.45	△	3.50	△
3減運動	①	テレビの時間を減らす指導をしていますか。	3.17	3.09	△	3.83	▼
	②	ゲームの時間を減らす指導をしていますか。	3.25	2.91	△	3.67	▼
	③	スマートフォン・携帯電話やパソコンに触れる時間を減らす指導をしていますか。	3.08	3.27	▼	3.75	▼
III 教師の姿勢							
1 スピード							
	①	児童・保護者への対応を迅速に行っていますか。	3.83	3.75	△	3.83	—
	②	報告・連絡・相談により自分の役割を遂行していますか。	3.75	3.75	—	3.67	△
2 スマイル							
	①	児童・保護者・地域の方に対して笑顔で誠実な対応を心がけていますか。	3.75	3.75	—	3.75	—
	②	児童・保護者に対して、時と場に応じた言葉遣いや毅然とした態度で対応していますか。	3.50	3.42	△	3.83	▼
3 チャレンジ							
	①	課題への解決に向けて前向きな発言・提案を行っていますか。	3.42	3.17	△	3.33	△
	②	指導力及び児童理解のため自己研鑽を行っていますか。	3.25	3.00	△	3.50	▼
IV 学校運営について							
1 運営組織							
	①	校長は、学校教育目標達成に向けて、リーダーシップを発揮している。	4.00	3.83	△	3.92	△
	②	管理職は、職員から信頼される言動を行っている。	3.83	3.67	△	3.75	△
	③	子どもや保護者等の課題について、相談できる体制ができています。	4.00	3.67	△	3.92	△
	④	職員会議は、計画的、効率的に運営されている。	3.50	3.33	△	3.25	△
	⑤	学校予算は、計画的、有効的に執行されている。	3.83	3.75	△	3.92	▼
	⑥	各主任は、責任をもって自分の役割を行っている。	3.83	3.58	△	3.83	—
	⑦	各種文書、個人情報等は、校内規程に基づき、適切に管理・保管されている。	3.83	3.50	△	3.92	▼
2 研修(資質向上の取組)							
	①	校内研修は、計画的に実施されている。	3.67	3.50	△	3.33	△
	②	研修内容は、指導力の向上、校務の効率化に役立っている。	3.50	3.42	△	3.33	△
	③	研修に意欲的に参加している。	3.58	3.33	△	3.58	—
	④	4校一貫教育の推進に向け努力している。	3.58	3.50	△	3.67	▼
3 情報提供							
	①	学校教育目標について、児童・保護者・地域に対して説明を行っている。	3.75	3.25	△	3.67	△
	②	各種お便りやHP等により、教育活動の様子や成果、課題等について情報提供している。	3.92	3.83	△	3.67	△
4 保護者・地域住民との連携							
	①	PTA活動や地域活動に積極的に協力している。	3.67	3.33	△	3.67	—
	②	保護者の声を聞く機会を多くする工夫をしている。	3.75	3.42	△	3.67	△
	③	地域の自然や文化財、伝統行事などを教育活動に活用している。	3.50	3.25	△	3.67	▼
5 教育環境の整備							
	①	教室は整理整頓され、落ち着いて学習できるようになっている。	3.33	3.58	▼	3.50	▼
	②	特別教室は、その教科の学習にふさわしい教材教具、掲示物が整備されている。	3.33	3.33	△	3.67	▼
	③	職員室は、執務しやすく整った状態に整備されている。	3.67	3.33	△	3.33	△
	④	余剰教室は、有効に活用されている。	3.25	3.25	—	3.50	▼
	⑤	図書館は、図書が充実し利用しやすいように整備されている。	3.75	3.58	△	3.75	—
6 保健・安全教育							
	①	児童のけがや病気の状況を把握し、保護者との連絡を密にし、適切な対応に心がけている。	3.83	3.67	△	3.83	△
	②	清潔で楽しい給食の時間となるよう工夫している。	3.42	3.42	▼	3.58	▼
	③	日常・定例の安全点検を実施し、危険箇所の発見と対応と予防に努めている。	3.58	3.42	△	3.67	▼
V 生徒指導							
	①	毎日、児童の出欠状況を把握し、欠席(遅刻・早退)児童への対応を行っている。	3.91	3.73	△	3.83	△
	②	児童の人間関係を把握し、いじめなどの問題行動の未然防止と早期発見に努めている。	3.91	3.73	△	3.92	▼
	③	児童一人一人のよさを引き出し、発揮できる機会を工夫している。	3.36	3.27	△	3.25	△
	④	課題に対して、一人で抱え込むことなく組織で対応している。	3.91	3.73	△	3.75	△
VI 特別支援教育							
	①	特別支援学級と通常の学級の児童との交流及び共同学習を計画的に行っている。	3.40	3.33	△	3.18	△
	②	特別支援教育のための校内委員会が機能している。	3.20	3.22	▼	3.09	△
	③	課題を抱える児童については、個別の支援計画が作成され、指導の記録が累積されている。	3.60	3.44	△	3.35	△

### <教職員評価の考察>

本校では、『4つの実践』と『3減運動』を教育の基盤とし、教育目標「思いやりのある子・元気な子・進んで学ぶ子」の具現化に向け教職員の力を結集し、「はつらつ奏小」を合言葉に日々の実践に取り組んできました。

本年度後期の評価は、前期や昨年度と比べ、下がってしまった項目もあります。特に気になるのは、「道徳」です。学力や体力に比べ、児童の姿が見えにくいこともあり、「道徳の見える化」をどうするかが、今後の課題です。規律ある態度や挨拶は、前期に比べ改善されてきましたが、道徳の見える化と合わせて、今後も重点として取組まなければならないと考えています。進んで学ぶ子についても授業の課題を明確にするとともに、教師主導型から児童が主体的に学習する「アクティブ・ラーニング」を効果的に取り入れる工夫をし、一人一人が「分かった」「できた」と思える授業作りを進めてまいります。そのためにも、学習の基礎基本や聞く姿勢といった土台作りについては、継続して指導してまいります。

4つの実践に比べ、3減運動は、学校での指導がしにくいのも事実です。そこで、家庭と連携し改善を図りたいと考えています。さらに、安全教育については、安全点検や校内研修を充実させ事故やけがの防止に努めるとともに、素早い対応と「一秒でも早くプロの手へ」という原則を守り、安心・安全な学校を推進してまいります。

本校は、妻沼東中学校区の長井小・妻沼小と連携し、妻沼東中との小中一貫教育に取り組んでいます。そこで、4校と連携しながら互いに指導技術を磨き合い、「熊谷一の学校」を目指し指導力の向上に努めてまいります。今後とも、保護者・地域の皆様のご理解ご協力をいただきますようお願いいたします。



### 幡羅高等学校 「家庭心得」

教育の道は、家庭の教えで芽を出し、学校の教えで花が咲き、世間の教えで実が成る。